

平成 30 年度 第 1 回学術集会プログラム等検討委員会 議事録

開催日時：平成 30 年 7 月 12 日木曜日 7:20-8:30

場所：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 9 階 会議室 901

出席：松山幸弘(担当理事)、渡辺雅彦(委員長)、中村博亮、紺野慎一、種市洋、根尾昌志、高相晶士、波呂浩孝、永島英樹、寺井秀富、中野敦之、平井高志

欠席：島田洋一

議事

報告事項

1. 前回議事録確認(資料 1)

2. 理事会報告

中村博亮理事長が各委員会の委員の調整を行い、本委員会は渡辺雅彦委員が委員長に指名された。

3. 第 47 回学術集会の報告(中村博亮会長)

参加者総数は 2500 名で成功裡に閉会した。各セッション・プログラムの参加者集計が報告された。収支決算は未確定のものもあり、次回委員会での収支報告を予定している。

4. 第 48 回学術集会準備状況(波呂浩孝会長)

パシフィコ横浜で 2019 年 4 月 18 日～20 日の開催予定である。演題募集は 2018 年 8 月 29 日～10 月 17 日を予定している。海外からの演題を増やすために NASS(North American Spine Society)と KSS(Korean society of Spine Surgery)の HP にも演題募集の Link を掲示する。その他の国にも積極的に周知活動を行う。

特別講演は野原裕、田口敏彦両先生に、会長講演は波呂浩孝会長、文化講演はサントリーの興水精一先生を予定している。海外招聘者は会長から 5 名、国際委員会からの推薦 5-6 名を予定している。1 会場は会期を通じて英語のセッションとしたい。Expert Technical Note は手術手技に関連した講演を検討している。English Poster Award (EPA)は APSS、NASS、KSS(韓国)、TWSS(台湾)にすでに募集を頼んでおり、SSS(シンガポール)にも打診している。会期終了後に脊椎脊髄外科専門医試験を予定している。次年度からは全指導医が対象になるので 300 名程度を見込んでいる。

5. 第 49 回学術集会準備状況(松山幸弘会長)

2020 年 4 月 16 - 18 日名古屋国際会議場で開催予定である。海外からの参加者を増やすためにも、英語のセッションを多くする様に企画予定である。2021 年 APSS が日本で開催される予定であり、APSS との関係をさらに構築する場にしたい。

6. その他

- ・ EPA は今後 JSSR 国際委員会でも推薦し継続したい(松山幸弘担当理事)。
- ・ 第 91 回日本整形外科学会学術集会では英語の海外演者講演の入場数が極端に少なく、

本学術集会での対応について紺野委員から質問があった。松山担当理事からは重要な問題であり、過去のトラベリングフェロー経験者等への働きかけについて検討が必要との発言があった。

・男女機会均等法から託児所を準備する学術集会が増えているが、本学術集会の対応について議論がなされた。当面は既存の託児所（近隣のホテル等）の案内を掲示する形で問題ないと思われるが、理事会等での検討をお願いする。

・各学会の実務担当者の旅費は原則的に日本脊椎脊髄病学会より支給することとする（ただし実務担当者が参加を予定している学会会場で委員会が開催される場合は適用されない）。

審議事項

1. 第 50 回学術集会について（根尾昌志会長）

運営会社はコングレと JTB に相見積もりを依頼している。最終決定は本委員会のメール審議で決定することとする。会期は 2021 年 4 月 22 日～24 日で京都国際会議場を予定している。招聘者は北米欧州 5 名と国際委員会からの推薦者 5-6 名を予定している。京都国際会議場は技師等が外部業者委託できず、例年よりもコストがかさむ可能性がある。50 周年の記念集会であり、日本の脊椎脊髄外科の歴史と業績をアピールするプログラムを考えたい。

2. その他

50 周年記念事業について

記念誌の発行について、理事会での検討をお願いする事とした。

次回委員会の開催

2019 年 1 月 17 日（木）19 時より専門医試験中に行うこととなった。

以上